

金沢大学 能登里山里海未来創造センター（地球科学・社会基盤工学） 教員公募

1. **公募人員**：特任教授または特任准教授 1名
2. **所 属**：能登里山里海未来創造センター <https://notomirai.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
3. **勤務地等**：金沢大学角間キャンパス（金沢市角間町）
4. **専門分野**：自然災害のメカニズムや防災・復興の対策・計画に関わる地球科学・社会基盤工学分野
5. **職務内容**：金沢大学が展開する「防災・復興人材特別プログラム」を効果的に推進するために、自然災害のメカニズムや防災・復興に関わる基礎的事項、先端技術等を多角的に学修できるコンテンツの構築や能登半島におけるフィールド実習の企画、コーディネート、現地指導及びプログラム運用に関わる一連の業務^(注1)を進めていただきます。また理工研究域地球社会基盤学系 (<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/geoandcivil>) が進める自然災害・防災研究グループ（先進的なハザード評価やデジタルツインの実現によるリスク共生型社会の創生に関連した研究に取り組む）と連携して研究を行っていただきます。合わせて、理工学域及び大学院自然科学研究科の専門教育の一部を分担（講義担当、研究指導）^(注2)いただきます。

（注1：防災士養成に係る運營業務や KUGS 特別入試防災・復興人材選抜入試における担当科目の出題・採点・監督等を含みます）（注2：準専任として学類会議、研究科専攻会議への出席とその他の大学運営に関わる業務、授業外の学生指導（オフィスアワーを含む）や授業改善に関わる活動を含みます）
6. **教育担当**：防災・復興人材特別プログラム <https://note.w3.kanazawa-u.ac.jp/contents/4366>
理工学域 地球社会基盤学類
大学院自然科学研究科博士前期・後期課程 地球社会基盤学専攻
7. **担当科目**：防災・復興人材特別プログラムの構築・運用及びプログラムに含まれる主要科目の講義、演習を担当いただきます。合わせて、地球社会基盤学類及び大学院地球社会基盤学専攻の防災・復興に関わる専門科目（講義、演習、実習等）の担当や研究指導を行っていただきます。専門科目では、英語による講義を担当いただく場合があります。
8. **応募資格**：以下の条件を全て満たすことが必要です。
 - (1) 博士の学位を有すること（採用時まで博士の学位を取得見込みの者も含む）。
 - (2) 防災・復興人材特別プログラムの実施期間中に渡って優れた教育・研究成果及び円滑なプ

プログラム運営を期待できる経験と資質を有すること。教育、研究、地域防災・復興支援に強い熱意を有すること。

- (3) 本学着任後、幅広い視野に立って教育、研究、プログラム運営を行う能力を有すること。また、地球社会基盤学系の教員と連携して教育・研究活動を行える能力と意欲を有すること。
- (4) 日本語で授業、学生指導その他の業務ができること。
- (5) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

9. 着任時期：2025年4月1日以降のできるだけ早い時期

10. 勤務形態：任期付常勤（専門業務型裁量労働制）

※任期 原則5年（年度ごとに雇用更新、最長で年度末年齢65歳まで）

ただし、予算状況を踏まえて、所定の時期に防災・復興人材特別プログラムの運営、教育、研究実績に関する学内審査を行った上で、当初雇用開始日から10年を超えない範囲で雇用更新を行う場合があります。

※引き続いた本学在職歴を有する者については、当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。

11. 給与：国立大学法人金沢大学特任教員の就業に関する規則に基づき支給されます。

※金沢大学就業規則

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

12. 応募書類：

(1) 履歴書

写真を貼付し、大学卒業以後の学歴・職歴を記すこと、連絡先として少なくとも電子メールアドレスを記すこと。

(2) 研究業績目録

査読付き原著論文、著書、総説・解説、国際会議録、特許、その他

(3) 主要論文3編以内の別刷（コピー可）

(4) これまでの教育・研究活動の概要（800字程度）

(5) 防災・復興人材特別プログラムにおける教育及び今後の研究計画に対する抱負（800字程度）

(6) 受賞及び招待講演などの特記事項、実務実績、競争的研究資金の獲得状況など

(7) 応募者に関して意見照会可能な方1名の氏名・所属・本人の連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含むこと）

上記項目(1)、(2)、(4)、(5)、(6)は、下記URLに掲載されている「個人調書」に記入の上、応募してください。

https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/public_offering

13. **選考方法**：書類選考の上、候補者の面接を行います。面接の旅費等は自己負担となります。書類選考及び面接結果については、本人に直接通知します。応募書類は返却しません。応募に関する個人情報は、本件の選考以外の目的には一切使用しません。

14. **応募締切**：2025年1月14日（火）必着

15. **書類提出**：応募書類は JREC-IN Portal Web 応募または郵送にて受け付けます。

【JREC-IN Portal Web 応募の場合】

書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください。

【郵送の場合】

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学能登里山里海未来創造センター 事務局 長田宛
※「防災・復興人材特別プログラム教員（地球科学・社会基盤工学）公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

※応募書類は原則として返却しません。特に返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

※応募書類は選考終了後に廃棄します。

16. **問合わせ先**：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 能登里山里海未来創造センター事務局 長田

E-mail: notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp

17. **その他**：

(1) 就業規則に関する規程については、下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

(3) 金沢大学ではダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

(4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、能登里山里海未来創造センターでは女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(5) 適任者がいない場合、採用を見送ることがあります。

以上

